

●産業医科大学 医学研究科

「国際産業医学研究者育成教育イノベーション」の事例 <医療系>

具体的に何を実施し、何が困難であったのか

院生の英語力がまだついていない点で国外での研修が受動的になっている。

苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか

トレーニングのためのカリキュラム、ディベート力や問題提起力などの育成のためのものが不足していた。時間をかける必要性もある。

どのように対応し、そのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか

研究テーマ毎にグループ討論の機会を作ることなどをやっておくべき。更に今後は海外研修やインターンシップの導入を目指していく必要性を感じており院生からもより積極的な交流の場の提供が期待されている。